

第5回 旧与謝小学校活用検討委員会 議事録

開催日時 令和3年12月21日（火）午後7時30分～午後9時30分
開催場所 与謝野町役場加悦庁舎 元気館 農事研修室
出席者 18名、欠席者 3名

1 開会

2 委員長挨拶

3 報告事項

(1) 第4回旧与謝小学校活用検討委員会（以下検討委員会）後の経過について
事務局から資料（p2）に基づき説明した。⇒特に意見なし

(2) 京都与謝野酒造合同会社からの報告事項について

事務局から資料（p3）に基づき説明した。

続いて京都与謝野酒造合同会社代表から次のとおり説明した。

「コロナ禍で当初予定の目論見がうまくいかなかった。令和4年度農林水産省補助金（醸造所新設）はエントリーしなかった。またその後会社内の事情で、会社を解散する方向で決断した。」

（出た意見）

→解散はやむを得ない。

→与小エリアでのビール醸造事業を期待していた。残念でたまらない。いつか復活していただければありがたい。

→京都与謝野酒造合同会社に地域の大きな期待をさせてしまったと思う。今後は地域と会社の接点はなくなるが、地域住民としてお付き合いいただければと思う。

4 協議事項

(1) 旧与謝小学校活用検討委員会の休止について

事務局から（p4）に基づき説明した。

→特に意見なし。

(2) 町長への報告について

事務局から（p5）に基づき説明した。

(質疑応答) (要約)

1) 施設の利活用の基本は「町→地元→民間」だと理解している。それがガイドラインではないのか。

→そのフローを肉付けする必要がある。現状では不十分と思っている。

2) 去年の同じ時期のこの会議で、ガイドラインがないため検討が進まないとのことだった。今後議論が進むのかどうか疑問だ。スケジュールを考えないといけないのでは。

→利活用の検討を進めるためにはガイドラインが必要である。

3) 「町は最低限の維持管理を行う」を追加してはどうか。地元では管理できない。草が繁茂している。

→異論なくを追加することとなった。

4) 桑飼小と与謝小は同時に閉校となった。桑飼小は閉校前から次の用途が決まっていた。格差があってもよいのか。

→再編後の小学生にアンケートを取った。概ね再編が良かったとの意見だった。また大きなトラブルもない。今回与謝小は、改めて検討する段階になったが一つの提案として廃校プロジェクトはどうか。一方でガイドラインは必要だ。